

ビジネスアイディアの概要

プラスチックのケミカルリサイクルには①**分解物の品質が低い**、②**高純度の廃棄プラスチックが大量に必要**という課題がある。

我々が開発する多孔性金属錯体 (MOF) を用いたケミカルリサイクル技術は、**プラスチックの分離と分解を高精度で行う**ため、従来の課題を打破する手法である。

本事業ではこのケミカルリサイクル技術の事業化に向けた模索を行う。

事業者情報

辰巳 遥真 (技術担当、FR)

小作 貴司 (ビジネス担当)

松尾 恒成 (ビジネス担当)

ビジネスアイディアを事業化するための課題

- ・本ケミカルリサイクル技術に対応する樹脂の汎用化・スケールアップ
- ・定量的な事業・収支計画の策定
- ・LCA等の環境負荷評価の実施
- ・マテリアルリサイクル事業者等の潜在顧客調査
- ・海外でのニーズ調査

事業化の見通し

既に、神奈川県・千葉県のマテリアルリサイクル事業者へのヒアリングを実施し、事業者が残渣の処理に年間2億円以上のコストを要していることが判明した。この結果より、本技術が処理コスト削減に寄与し得る有望なアプローチであることが示唆された。

今後は、自動車・食品等の上流産業へのヒアリングを行うとともに、技術のスケールアップおよび実証に向けた装置導入の検討を進める。

ビジネスアイディア概要図等

